

保護者の方へ
 4泊5日、子どもと一緒にお参りし
 行っております。

ねんりん通信

板野中学校
 2年
 10月2日(火)
 131号

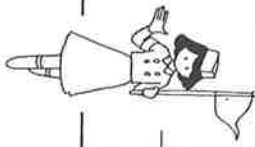
(2) 旅程		◎集会場所	板野中学校
◎時 間		午前5時50分	
第1日	板野	高松	マリノアイナー 12号
10月3日(火)	6:45	8:42	8:57
		9:54	10:26(井)11:12
			ひかり 137号
			山口
			広島
			平和公園・原爆資料館
			館帯橋
			山口
			湯田温泉(泊)
			11:50
			13:30
			14:50
			15:20
			17:30
第2日	湯田温泉	秋芳洞・秋吉台	関門大橋
10月4日(水)	8:00	8:50	10:30
			11:30(井)12:10
			13:40
			14:40
			有田焼(荏州窯)
			佐賀(泊)
			16:00
			16:40
			17:30
第3日	佐賀	榎木	熊本城
10月5日(金)	8:00	10:40	11:45
			12:00(食)13:00
			14:30
			阿蘇山上
			火口
			山上
			草千里
			九重高原
			湯田温泉(泊)
			15:30
			16:00
			17:30
第4日	筋湯温泉	別府アフリカサファリ	城島高原
10月6日(土)	8:30	10:10	11:10
			11:50(食)13:30
			14:00
			15:30
			高崎山・グリーンパレス
			別府
			別府港
			(船中泊)
			15:50
			17:30
			17:50(食)20:00
			21:00
第5日			高松港
10月7日(日)			学校
			7:45 (井)
			10:00



宿 泊 地 ・ 食 事 場 所
10月3日(水)
屋食 ひかり137号(井持参のもの)
宿舎 山口市湯田温泉4丁目3-19 ホテル梅乃屋
TEL 0839-22-0051
10月4日(木)
屋食 下関駅井当 TEL 0832-22-0626
宿舎 佐賀県佐賀郡大和町大字梅野120 ホテル龍登園
TEL 0952-62-3111
10月5日(金)
屋食 水前寺観光センター TEL 0963-83-0191
宿舎 大分県玖珠郡九重町筋湯温泉 筋湯観光ホテル
TEL 0973-79-2231
10月6日(土)
屋食 城島レストハウス TEL 0977-22-1161
夕食 別府トラライオン TEL 0977-23-7171
宿舎 関西汽船あいぼり丸船中
10月7日(日)
朝食 木村屋(高松市) TEL 0878-74-6555

旅行中の安否放送について

- (1) NHKラジオ第一放送とF.M
 午後6:55からの「お知らせ・天気予報」のコーナー放送します。(野球放送があるときはF.M、土曜日に野球の有るときは7時のニュースの時)
- (2) 四国放送
 午後6:00~6:10のJRTラジオタカのコーナー
 有線放送
 午後7時と9時の2回
- (3) 前にもお願いしましたが生徒に緊急の用がきたときはまず中学校の方に連絡下さい。



元気に行ってきます



学年通信 ねんしん

10月行事予定です。旅行が終
たので出すことにしました。これから
平準の日課です。

10月行事予定

日	曜	行 事
1	月	5,6校時訓練
2	火	1,2,3訓練、連絡 午後放課
3	水	修学旅行
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	帰校
8	月	2年生代休
9	火	初任者研修 鎌田先生来校
10	水	3年生進学説明会(本校)
11	木	食血検査 1,2,3年
12	金	貧血検査
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	郡校長会(本校)授業公開
17	水	
18	木	
19	金	郡新人大会 1,2年臨休
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	インフルエンザ予防接種 貯金
24	水	
25	木	中間テスト
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	初任者研 武田先生来校
30	火	
31	水	宿泊訓練

・16日は板野郡の中学校の先生の会が本校であり
みんなの授業と見てまわられます。
・新人大会は19日よりです。19日は一・二年生は臨休に
なります。二年生中心のはじめての大会。精一杯の
ことはやりたいもの。
・23,24日は貯金日です。二年生は貯金の一つの目的で

10月行事予定について

※修学旅行無事終了しました。これから学校生活
の充実のときです。今までの先生の経験から、毎年
旅行終了後、生活に乱れの出る生徒がおります。今年
はそういうことのないように、みんなの生活ぶりし、かり
見つめていきたいと思っています。「わしりんでは
しばらく旅行の反省や感想が続きませんが、いつま
でも、旅行も引きますことなく、日常生活を充
実していくことも考え、実行していきますように。



※

25,26日と中間テストです。新人
あ、旅行は終わったわけですが
引き継ぎ貯金とする人は、今
渡してある通帳と一緒にこの
両日にお金を持ってきて下さい。

戦が終ってからでは準備は遅いでしょう。授業も大
切にすると同時にテスト勉強の方も計画を立ててや
っていくことです。

※生徒のみなさんには直接関係ないことですが、16日
より地域懇談会(出張PTA)が始まります。保
護者の方と学校との地域ごとの話し合いです。よろし
くお願いします。

※初任者研修というのはみんなには直接関係ありま
せん。他校の先生が来ます。びっくりせんように。

※用務員として、陰の力として板中の為になんかの
為にがんばっている林さんが明日10月10日結婚

保護者の方へ

おかげさまで無事修学旅行を終えることができました。
一部体調を崩したり、最終日には台風の影響も受け、雨
の多い見舞いとなり、たりとしたが全体的にはまずまずの
修学旅行であったかと思っております。その間、御心配
をおかけしたり、御協力をお願いしたりで、ほんとにありが
とうございました。

さて上にも書きましたように、この旅行を境に生活に乱
れが出る場合があります。学校においても十分に気を付け
厳しく指導すべき点は厳しく臨み、乱れをおさえるという消
極的な姿勢にとまらず、より積極的に充実した学校
生活があらまようになければと思っております。家庭におい
ても、気になる点がありましたら遠慮なくご相談下さい。
こころはくらの生活指導は大変に重要であると考え
おります。よろしくお願いします。

独り言

※今日(8日)は台風、雨の音を聞きながら午前中は
ゆっくり休めました。——と書けるつもりが、子ども
達が学校を臨休の為に家に居て思ったほど休め
なかったのです。みなさんはどうだったですか。
なんのなんの言ってもやはりかなり疲れています。



若い、みんはもうすか
り回復しているでうう。
勉強部活と入
れていませう。



8日の代休はゆくり休みました。終ってみれば4泊5日なりました。それにしても台風のおかげでここにきています。

修学旅行—スナッフ—

旅行中に見たり聞いたりです。思いつくままに独断と偏見を綴ります。順序はバラバラです。

※城島高原での雨と風ではもう今日は帰れんと思った。河野先生(添乗員さん)が出来ることと宿題してくれたがまだ信じられない。ともかく乗るぞエーッ



思たのは、持岸している状態で上下に1メートルくらい揺れた時、これはみんな酔っ払いだと思ったのでした。

※そして出航。台風のおかげで船の上が大きく揺れた。オ号がゲージで揺れたのは、船が出た10分もしないうち。あと続々と洗面所へ、延べ人数にして30人くらいかと思つた。少なすぎないが、あの波は、半数以上がゲージすると思つただけに、まあまあという感じ。ほんとに安しやつとした。二時間ほど洗面所ですいた人も少なういた。

※船の中央の入口はガラス戸だが、さらに外の鉄の扉も扉が開けたときは先生もビビッた。波もかぶるおそれがあるからさ(もう)。あとで聞くと、人なゆれは少ないとのことでした。

※しかし大半の人は、すぐ寝ていました。あんな状況だったのだからなにに慣れたのがよかったです。やはり疲れていたのか、ほとんどの人がすぐ眠ったようでした。船に3人佐野先生、通路にいる生徒を見ると、「○○!! 何うううろしよん!! 寝なはれ!!」と、ふはん語で叫びました。その佐野先生は通路まで生徒の間で歩いて上へ行くと、さう上へいきました。船はまたゆれがあり、まだゆれと入るおそれがありました。ハッカリという感じです。大半の人が早く寝ました。朝は

六時すぎから、腹へた、とすわぐすわぐあたり、トク、トク、としたり元気がなごに安心しました。雨と風、そして大ゆれの船が、この旅行の香の想い出になる人も多に思っています。



※風は岸の上、タオルで、かくせる方ばかりかすという感じ。風をどおかしかったが、まあ今は成長に差もあり仕方ないかなとも思ったりします。タオルもまて、ハンツもほき、そのあとタオルを引き取る。その時A君「先生、タオルがとくん。取ろー」と叫んだ。ついでにハンツも取らされた。それなりに盛り上った。※レクレーション、マわがしかなかったけど、それなりに盛り上った。準備した衣装も持ってきたA組、B組の人、ほんとにくらつてました。やっぱり評価も高かったようですよ。校長賞ももらった。20大状君と20担任佐野先生おめでとうございませう。佐野先生の腰振りダンス。本村先生のナレーション。将聞先生の独唱、好きになつた人。阿部先生の独演「手作」おんがよかった。仁木先生は取材でした。将聞先生のハッピーの発表の場でもありました。横断をこけて足もくじいた。本村、大丈夫ですか。

※ペラニダのある二日目の宿、もう慣れたよう。かとおペラニダを見てもわけていました。B君連とニーツをマントがわりに首にまき、部屋の中で大あはれ。おつかたとさんに、バツとふとんに休め伏せ。モソモンも移動。先生はアホらしくて、おくる気もしなかつた。後できくと、バットマンをやっていたんだそう。これで中二。

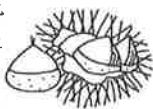


※おやつタイムの時はガイドさんは案内をやめて、座っているかと思つたり。その間もずっと立っていたら、それを見たAさん「先生、ガイドさん、そこに座るもろたりワ」とあていり席を指した。ガイドさんにすすめたがもうろん立ったまま。もし客が少なく、客用のシートがあつたとしても、仕事中には絶対座らないだろ。大町に言えは仕事の厳しさというものはさういふもの。それは別に、あつた場所をガイドさんにすすめるという心根はうれし。

※マ酔酔いの話ですが、富加見先生あまり船には強くないそうです。それでも酔った生徒が出れば、付き添いあげている子の背をさすてくれています。さつと最後にはそのにおいが鼻につき、思ひ出されて、酔まてた。途中から腹が青くなつた。こもつれいすね。将聞先生もタフでした。しかし本人はもうトロローになっていたんですよ。

※三日目夜のクイズ。榎田君よかったです。クラス賞もD組へた。か体育祭の優勝もD。担任の先生がハッピーだ。幸運もみんなそのクラスにくいのではーと思つたのは先生一人だけ。ともあれ、よかった。よかった。

※旅行が楽しくなるように、快適な旅ができるように。みんなの見えるところまで世話をし、気をつかうくれたのが添乗員の河野さんと田淵さんの二人。仕事といえはそれまでだが、先々にきこつた。安心してお願いすることができた。ほんとにお世話になりました。ありがとうございました。



※夜見まわりで、ある部屋に入るなり「ブーン」。みんな大笑。犯人はA君。四泊五日の旅行だから、そんなこともあつた(もう)。それにしてもタイミンがよかった。

学年通信 ねんしん

秋晴れのいい天気になりました。
もう台風はこないでしょう。

修学旅行—スナッパ

今号 2

※朝起きてみるとAさんの肩の上から内出血して
いる感じ、聞いてみると、寝ているときにBさんに
けられた(もちろんわざとじゃありませんよ)とのこと。
まあ、たしかともなうでよかったです。それにしてもみん
なものです。いかにこうで寝ている。他にけられたり
してとあきれた人はいますか?」

※病院へ行った人は三人、たしかにきつくてよかったです。次
の日はロケットで食べる食べる。昨夜と同一人物が
思うほどでした。四日目、雨にぬれた為、風邪をひき
はせんと心配したが、旅行中は大丈夫だった。八日の日
はどうですか?心配ないですか?

※朝食に生卵が出た。それも生で飲むと思ったB
君は入れずに、刺さる口をあけ、直接飲むとした。
その結果、B君のワイシャツはベトベトにな
ってしまいました。以上はもうさん笑話。
ついでに食事の話ですが、食事は筋湯が一番
よかったという人が多かったようです。食べきりす
残した人がほとんど。一日目のこの人のおかゆりが五
杯、二つ記録をつけた下巻も、この日は二杯だっ
たそうです。旅行の楽しみの一つは夕食、夕食のい
い旅館が一番いい旅館かもしれない。



※一つの場所の見学が終わると、先生、次どこへ行くん
の質問の多い。今まで学校で説明してきたのは一体何
だったのか...と思う先生でした。見学もさききに
土産物屋にとどまらぬの早見。バック一杯の土産
は、しなやかな手にてさげられた。



※忘れ物があつた。多いのが少ないのか...土産
も忘れり。ジャージも忘れり... (実は先生
も忘れた)。ある人は、売店の商品の上に
サイフも忘れていた。中もみてみると、一年一
組などと書いたカードがあつたから、い
ろく持っていると本人がうそをついた。早く
気がついてよかった。

※阿蘇は残念ながら火口は見ることができなかった。
しかし中岳の山頂に火山灰が白く雪のように積り、
噴煙もあがっていたのを見ることはできました。それに
してもまじったのはあの人命救助のおうさん。たくさん
の人が買つた(買わされる)だろ?なあと思つたら
やうばりそうでした。六割ぐらゐの人が買つたよう
でした。うまいこと言うなあと思ひました。

※ガイドさんとの別れの風景は旅行につきもの。中には
ガイドさんの名前入ったキーホルダーなんかをプレゼント
した人もいたようでした。みんな思い出はできましたか?

あやみより

※あやみよりと修学旅行もおわりました。何かきかいな
花がびと散ったような気持です。

〇〇君 キヤメラあがきつ。おこはかりしてゴメンネ
ロロ君 アメ、サニキ

△△君 エスニカ食べでゴメン、サニキウ

↓ なせか食べものはかりだね。これから生活で
もきれいな花を咲かせよう。

※あや山に行きました。帰りの草千里で
商店上手のおつたにいて、買ってしまった。
↓ よおけが買わされてた。



※今日修学旅行が終りました。
いろいろ行っただけ、おたがさめたが、ガ
イドさんとお運手さんにお世話になつて
とそめかりやすく説明してくれました。どうもおせ
わになりました。



※私は広島県原爆資料館を見てとてもかわいさ
たまりませんでした。何のつみもない人や小さな赤ん
たが次々に死んでいく様子が目の前にうかびやうで
私は原爆のおそろしさがよくわかりました。↓学校
で学習したことを必ずつたですか。旅行の日も出発点に
して、これから折にふれて原爆や平和の問題について考
えていきたいものです。

※私修館の中をレクレーショ大会が
ても楽しかったです。特に阿部先生の手作。は
も笑えました。B組の劇もおもしろかったです。↓阿部
先生の手作はほんとにもっとも楽しいです。それに知
っている人にはややもの足りなかつたので、校長賞は佐野先生に
なつたんです。

※今日船で熊本バスの人達と船でわかれたところか
んがあのセミナーの最後、千葉の友達とわかれるところ
もい出した。一瞬ありがたつと叫びたくなつた。でも言えな
かつた。また会ったときの言葉にしたいと思つた。↓気持
は通じていると思います。でも言葉はもつとよかつた。

※今日帰ってからフラフラでいつの間にかねていた。でも八
時ぐらゐにおきてテレビをみると時ぐらゐまで見ていた。そ
の中で時間がすまなくほしくなつた。思つた。思つた。思つた。
なつた。長きようで短かかつた。思つた。思つた。思つた。思つた。

学年通信 ねんしん

旅行が終れば、新入戦が気になり、勉強が気になる。実りの秋だけにすべてに欲張りになってしまふ。

平成3年度

徳島県公立高等学校入学者選抜方法に係る英語ヒアリングテストの試行について

- 1 学力検査当日、英語のヒアリングテストを試行する。
- 2 そのヒアリングテストには配点せず、合否判定の資料としない。
- 3 ヒアリングテスト試行についての実施要項は別に定める。
- 4 試行の結果をふまえて、平成4年度本格実施の予定である。

これは県教育委員会の連絡です。季風会からの連絡です。まじり早くいえば、みんなの学年から入試にヒアリングテストが実施されるということですが、これからお父さん達にテストでもヒアリングテストを選択するようになるでしょう。ヒアリングテストを受けるわけですが、英語の授業の時間(一時間)も大切に

※ もう一つみんなに関係する点で変わったのが、岡地高校。今までの農業科が、生物生産科と生物工学科に、家政科が生活経管科に変わります。生物工学科はバイオテクノロジーとの関連で注目とあつて、県内の高校では初めて。
※ 入試そのものにはまだ少し間があるが、制度が変わり今から準備しなければいけないものもある。これから時には入試のことも考えていかねばならない。

あゆみより

※ 今日二年生だけの休みでした。はきりいって、このときも時間しかねていない。今日一日、ぐっすり寝ました。おきたら目がはれていたり、肩がいたくなったりと、とてもつら



おきりさきにふししては
つら



おきりさきにふししては
つら

※ 高崎山はさるがとてまかわけらかった。私もびっくりして、いやだったのは、さるに、リマという名と同じ名をつけたのだ。その名をおじさんが言った瞬間、みんなの目も私の方を見た。ガイドさんと別れるとき、みんなつらかったと思う。夜はよくゆれたなと思う。ふだん私は、なににでもなつてしまふ。ゆにせかよわなかった。スースーなっていました。ふとおきると、朝だった。瀬戸大橋の下を通ると、甲板に出て見ていました。

※ 今日修学旅行から帰ってきました。お母さんやお父さん達を迎えにきてくれました。修学旅行で、着印象に残ったのはガイドさんとの別れの船です。涙を流しながらお別れしました。アフリカ・サマリでは、雨で動物があまり見えなかった。残念でした。広島は原爆のおそろしさを知りました。いい修学旅行の思い出になりました。



おきりさきにふししては
つら

※ この台風が一日早かった。うーんとゾツとしました。私たちは運がいい。

※ ぐっすり眠った。でもお昼からは勉強した。明日からは気持ちよく勉強に励みたい。ヤルゾーという気持ちでいいです。

※ 松方湖、行くすといふかと思いましたが、お母さんは行かないといふのでおまてあけた。たてです。果年妹もここに来るんだろなと思いました。

独り言



おきりさきにふししては
つら

※ そんなことも書いているうちに、考えてみれば、新人戦まであと一週間しかない。どの部も十分な練習はできてない。十分な練習をさせて、試合に臨むこととします。短期間にどこまで調子をあげていけるかです。その一点をポイント。



おきりさきにふししては
つら



おきりさきにふししては
つら

年通信

旅行の短歌を中心とした
各クラス号です。まずは2Cから
あと続いていきます。

- ・秋芳洞はたまたま着るすくく見て
今思ひ知る 歴史の長々 (藤村 和子)
- ・さる山で 友達づくりするはすか
友達つくらず 帰るるの君 (豊田 和也)
- ・フッフ 高崎山に0君は
おいてまほりに されるはずだった (新宮司 菜子)
- ・あまりにも短かすぎるよこの旅行
あらしでも来て 船がとまれば (藤井 由実)
- ・旅行者に土産屋の声をせしげに
秋風はさぶ 草千里かな (森川 公博)
- ・ホテルでは みんなうきうき 楽しそう
私も楽しく 夜もぬれぬ (稲住 友紀)
- ・喜ぶが小雨の中で たちのぼる
みんなの声と 龍巻地獄 (井上 浩司)
- ・うきうきうき 四日目雨が降ってきた
せつせつかなの 修学旅行が (鈴木 友果)
- ・さる山に また会える日またのしみに
まつてゐるんだよではまようなり (富永 美紀)
- ・雨の中 高崎山の さる連は
かこもさすに たわむれてた (岡部 孝実子)
- ・雨の日の 高崎山の さるたちは
みんなぬれて 風邪ひくぞ (原田 和子)
- ・修学旅行 みんなという行ったけ
一番楽しい バスの中 (佐藤 元通)
- ・別府でのガイドさんとお別れは
涙が出そう また会おうまで (滝 寿佳)
- ・新幹線 はやいと思うがトンネルで
けしきが見えず よめからない (山の 修二)
- ・あや山で とつせんバスにもぐりこみ
商売しまくる 変なおじさん (太田 美紀)
- ・四日目は雨がふるるとしやばりで
ササリ動物 またく見えな (高尾 正晃)
- ・今日もまた 朝おぼろしくとびおきて
みんなと楽しむ時がきたんだ (林 忠弘)
- ・四日目は雨とまりとがあつたけど これも一つの
思い出となる (渡谷 充省)
- ・広島の下り4の上には日か昇り
平和の歌が聞えてくる (寒川 裕美)
- ・この日まで 持ち続けたよこの心は
修学旅行で たしもうよ (佐野 貴之)
- ・おふろの湯 とても熱くてはれない
あるいぐらひが ちうとうとよい (岩下 方大)
- ・ガイドさん ちから入れての 説明も
生徒さんたち しらんぷり (水口 伸一)
- ・雨の中 最後の別府たのしんで
今日の夜にはもう 船の中 (和田 智江)
- ・おみやげを 考えるのもまたたのし
帰るからの 喜ぶの顔 (酒井 智美)
- ・真夜中に ドクダクドクと 歩いている
隣は何もしてゐるのだろ (大道 正史)
- ・熊本城 天守閣から ながめる
人間たち 石ころみたい (佐野 浩幸)
- ・願ひこめ みんなであつた 干羽する
平和な世界 みんなの思い (水口 千代美)
- ・五日間 みんな仲よくすごせたよ
たのしいことが たくさんあつた (谷口 貴敬)
- ・秋芳洞 自然の力のすこく
われらは たまたま 圧倒される (藤本 孝誠)
- ・草千里 友といひしよに 馬に乗り いろんな思い出
たくさんできた (大西 美紀)
- ・龍登園 風呂のきれさに 驚き
ふとんのほろに また驚いた (井上 由加)
- ・二日目の 秋芳洞を見学し
行そみたのも 暑かつた (三原 進也)
- ・太宰府を お祭り買つておもしろ
来年の合格祈願する (東條 和海)
- ・梅乃屋で 雨もりするし 水も出た こりかたけと
おもひうかつた (清水 芽幸)
- ・だいたい府も次来るときは名物の
おもちを食べる 時間をほしい (森 真由)
- ・五日間 大好きだった ガイドさん
別れるときの 船のけむりよ (林田 淳)
- ・原爆は心の中の 青空
こがしていった 悪の化身だ (西原 龍彦)

自由作文より

※夜ねるときは、へんな話したり、バットマンとかいってふとんのシートで遊んでいた子がいて、先生がバットマンから見ていたのに気づかず遊んでいたのに残っています。バットマンとかいう遊ばなかつたのです。一つだけ班長だて失敗してしまいました。班長会るときは、他の人のことを考えて時間をまろと守りたいです。(西原 龍彦)

※あんなに楽しみにしていた修学旅行も終わってしまつたあつたもののである。しかしあの五日間だけで思い出は脳みそからはみ出るくらいです。その中で一番楽しかったのは四日目。あじくの雨だったから私は雨の修学旅行もいかなあと思つた。でも外も歩き回る量が多かつたので雨はいいコートも無視して髪を乾かして服の中になた水にたどろ。このときは少し雨をにぎむことになる。(藤村 和子)

※広島はあまり楽しかつたとは思ひなかつたけど、すごく印象に残っています。原爆のものをすごくよくわかりました。すごいロボットの服とかその時の写真とか考えられなほどでした。園内雨が降つてしみたのもそのを見て、やっぱり雨にふるとるんやなあとと思つた。これを見て、今までよりもっと戦争のことを知りまし

ります。

下

(2) お金の受け渡しについて、フリント一枚にもお金を

額になる。きちんと支払をし、一部の人に負担のかか

るにどのなにするにぞ。お金のトラブルはいやな
めです。10円でめえもきちんとしよ。」

※ 苦言 ついでにもうひとつ、渾刻をなぐさう、こゝ

れは、朝の遅刻だけでなく、授業にともなふこと、
ナイムが鳴いたら席に着き、

植葉の用意をすること。キヤイ

ムカ鳴きもペラペラと走りまわっている人、大団メンバーが固定してきているように

ひす。名前と発表しましょうか？

※三年生は今日進学説明会があった。各高校の先

生方は、お中元で三年と父兄を文藝に高校の説明があつたのです。いよいよ三年生はこれから正念場

今二年生のみんながすくもは、力もつくるんです。」

た、実は柴田先生のお嬢さんも結婚式であつたの

です。今日の柴田先生、幸せそうでしょう。先生おめでとございます。そくてくろうでござました。

三ノス連報のところに書いた事のはかには、この事も

といひける先生もいるのですが、ブラバンの人。今日

本日(12日)森口先生に二人目のお子さんが生ま

サの子です。元氣な元氣なあちゃんに
なりました。

そうです。今、病院で先生はあの大変な怪しはいの
よろこびをかみしめていることでしょう。心からお親い

したいと思ひます。どんな名前も付けるか、又決まらな

らぬりんでもみんなにも知らせます。今年は二年生の

先生方と事続きます。次は1月1日(金)で1月10日(金)となるだろう。いミースはみんなをハッピーにしてくれます。

ともあれ 森口先生！ おめでとうでございます。

幸せの歌をいっぱい演奏してくれませんか？

あ
ゆ
み
よ
り

※今日久しぶりに部活に行きました。桜間先生はなぜ

かいつもより美しくなっているような気がしました。それだけ

結婚式が近づいてくるという証拠だと思います。それから打合せの方をもちいて一時ずまに家にかえりました。

↓君はするといぬ！ 心が充実すると、外も輝いて

くるというのをんでしよつ。君は今輝いていますか」

※今日は国府との試合がありました。1対0で勝つあげ

↓新人戦が近いからとの部も練習試合が多くなる

くる。試合の力もとりもどしていうてくれ。」

台風はないだろうなあ、どうもスカと

した天氣が長続きしない、甘めて氣



持だけでもスツキリさせたい。

[illegible]

年信 ねんしん

帰って 元気に 無事に 何か
船の 出ても 思っ 安心
酔い 出しても 思っ 安心
は あり 思っ 安心
は あり 思っ 安心
は あり 思っ 安心

二年A組 修学旅行の思い出

広島に時流れてなごりつける

原爆ドーム(赤松芳典)

梅の盛の旅館はすくたのしいな

もう一度いざあの旅館に(長井孝幸)

秋芳洞はいいはすくたの流

カウ出して思ひ出ひとつ(美馬泰織)

またいくぞ金があたらせだに

友達ささい九州に(溝延和美)

バスの中しりとりつたカイドさん

四日の間おつかれさま(佐藤友美)

広島で肌でかんだ戦争の

苦き、恐怖と命の尊さ(三木克彦)

海地獄なんともいぬあの青さ

今も心にやきつき消えぬ(斎藤泰幸)

歌合戦楽しく進んだバスの旅

風に吹かれて歌をひか(佐藤美穂子)

広島に原爆落ちて現在

心の中に世界の平和(楠本香織)

むくむくと煙はたす阿蘇山を

すいーと思う私達(吉川恵子)

阿蘇山は煙むくむくはきあげて

くれば殺すとおどしかけた(岡本芳典)

雨が降り台風までふたつだけ

何とか無事に板中へ(藤田友治)

秋芳洞中に入るとすくた

黄金柱がともすくた(中川益教)

五日間はいい思い出

心の中のアルバムの中(池田真司)

神様が我に力を与えてくれる(平野規也)

乗車を作りすぎた去った

修学旅行は今思い出に(大森恵子)

有田焼めくもな値段

かつりあか不田議に思(近藤愛子)

出発は元気を頼り夢一杯

あいつ間の修学旅行(近藤章雄)

かわいいな高崎山あつるさん

ホスの前では何ひできない(奥尾弘美)

旅館で時間守り安ん

寝るとき少しおこられた(林秀和)

バスの中よりあかたカラオケは

バスガイドさん笑うていた(小川美香)

別府港でバスガイドさん見た時に

とても悲しい気分になった(小川一恵)

三日目の旅先宿で劇をして

はすかし演技今は思ひ出(添厚健二)

広島に行った時から別府まで

お世話になったカイドさん(土内哲治)

草千里山と地かけだとして

馬もろくぶきいなる緑(岡本裕美)

旅館でみんな話した自分の過去

今ではみんな本気の友達(松田真由美)

有田焼がラスの中の花びらみて

値札をみたうめまかきた(西口浩司)

はいつたら昔にもどる気分になる

神秘的な秋芳洞(阿部美和)

原爆よ人の生命を無くすため

お前はいつか消え去れ(坂田淳司)

ひとめ見ただけでほれまきた(近藤大)

五月間いっぱい思い出でできた

いざなむすしはできた(井上雅人)

バスの中半分ぐう寝たのに

旅館にあればなかなかにいい(根山拓也)

五日間土産はすし自分の

収入は五千円ぐうい(大西孝文)

豊永倫代(カセのため大席次号にの)

ます。

自由作文「筋湯観光ホテル」で(近藤章雄)

筋湯観光ホテルにつくといなり陣子もあぶそ

られた。今日はほんとといなりなと思ひました

の人のあやまて自分の部屋にむこうとするとベランダ

があったので友達と諸に行だ。ベランダは静か川音と

出の音がほくの沈んだ心をなごませた。また今朝

はすいぬホテルが暖かいのはびっくりした。という風景

は僕たちの田舎でもなかなかなる、とかなくは

った貴重な光景だと感じた。お風呂に入つた後また

ベランダで話をするようになった。お風呂から出て話を

すると山の中へ入ったせいかお腹が痛くなつた。

この日は大大会があるので自分の部屋(床)に

の体操服を着て身体を温めようとした。しかし、できた

らどつとつと心配なまま。先生の話を聞いてると

賞品が出るというので腹痛などではおれなと意

地でも刺さるやろつと思ひました。刺し無事に

終わり安心。結果は練習したとおりあり、最

優秀賞に輝きました。これをきいたとたん僕は

ほつとして重い荷が軽くなったような気がしました。

年信

ハッスルしてきて、寝込んでしまった修学旅行。みなさん、お元気ですか。

二年E組 修学旅行特集です

広島に 原爆落ちて数十年	古川 朋秀	楽しんで思い出ができた修学旅行	新野 恭啓
友達が 本性あらわす旅館での	長坂 薫	そうだな 阿蘇の景色見て 思い出すは	松長 秀樹
草千里 空気がたく気持ちいい	赤澤 達夫	自由・解放 さもん豊作	高原 康弘
草千里 だけど馬にはこまったな	上田 博文	よくゆれた 船の中での生活は	新杉 義博
秋芳洞 自然にできたすばらしい	米崎 信弥	まるでこの世の地獄と思えた	圓藤 歩
明くる日の 目覚めた朝は夢心地	金岡 宏美	HAPPYな二人と 暗い四人	小川 佐代子
外人さん 竜巻地獄の階段で いきなりキスとは	奥谷 優子	戦争の 悲しみ語る広島へ	吉岡明日香
もう一度 修学旅行行きたいな	漆原 理恵	雨の日の 地獄巡りは寒かった	小川 俊之
長かった けれどもちよつと短い	石川 敬子	血の池地獄はあつそうだ	岡本 弘樹
広島に 原爆ドーム見たとたん	岡 亜紀	みんなうとうと寝てしまい	稲富 里奈
熊本城 造った人が頭いい	寒川 良太	ガイドさんひとり話してる	長尾 憲二
来年の 願いをこめて太宰府に	佐野 光代	バスガイドさんお別れに	富原 一晃
過ぎ去った あの修学旅行大切に	永峰 ゆか	涙流してまた会う日まで	東條 裕子
草千里 思い出として残していきたい	増原 洋子	終わってみればさびしいようで	板東 良夫
楽しかった修学旅行の日々	土内 恵子	大きな声を聞きながら	木本 憲
思い出せば先生たちに迷惑かけたな	犬伏竜太郎	なんとかすごした4泊5日	楠本 順子
船の中 酔いまくってグッタリ	小川 勉	長い歴史をききみこんでいる	加集 綾香
長そうで 短かった		高崎山の さるを見る	林 慎也

草千里 馬に乗っておおはしゃぎ
私に乗られてだいじょうぶかな 堀江 恭代

自由作文より

☆……とくに、原爆資料館ではたくさん資料やその時の服や人形などを見て、戦争の恐ろしさや人々の苦しみが伝わってきて、本当に涙が出てきそうなど胸がしめつけられました。映画などで見た時の戦争に対する怒りよりも、もつともつと戦争がにくくなりました。(吉岡明日香)

☆……僕が修学旅行で印象に残っているのは草千里です。外人がいたのて聞こえないように「ハア〜イ」と言ったら、聞こえたらしく「ハア〜イ」と言ってくれました。あれにはビックリしました。(上田 博文)

☆……八時半ごろ〇〇君とある人の記念写真を僕がとりました。二人はとても暗い表情をしていたので、僕が一発ギャグをとばしたら、スリッパで思いっきりたたかれました。この時、僕はギャグの通じんやつだなあと思いました。(新杉 義博)

☆……消燈後は、普段とはまるで別人のような友達の本性が分かった。普段から変な友達、暗くなるともつと変になるし、まじめそうなやつも、ちよつといつもとは言動に変化が見られた。こんなことが分かるのも修学旅行の楽しみの一つだと思った。(長坂 薫)

☆……これからは現実にも引きもどされ、勉強に励まなければなりません。板中祭などたくさん行事があったのにもう全部終わってしまいました。太宰府で学業のお守りを買ったので、高校入試、絶対合格できるといいです。できるだけがんばりたいです。(増原 洋子)

年信 ねんしん

筋湯温泉での全員合唱「乾杯」
一生 忘れません。
どうも ありがとう。

ニD 修学旅行の思い出

もみじの木熊本城を背にに向けて

風にゆれてはひらひらおちる(鴻地孝哉)

旅館でのあかしまくたあの秘密

みんないろいろササネーベルマナ(大西弘記)

カイドさん話を(すぎてくたびれた

表情は一度も見えない(樹井恵子)

この人がいいなと思つたカイドさん

思ひなつてまあうれしいわ(大道仁美)

秋の空 雨がポトポト降つてきて

とでもしんだい五日だった(姫田亮)

頂上に登れず残念だったけど

われらを祝福阿蘇山の噴火(北原蒼之)

阿蘇山火山活動くり返

今もくもくといけむりたつ(仲田宏三)

馬にのりみわたす山々美しい

もう一度行きたい草千里(三宅里下子)

船の中みんながゲーゲーを吐いた

せこい(ペジ修学旅行(鈴江見子)

原爆の光のこわさ思い知り

平和の新リドームにささげる(宮崎絵子)

親せきのおねえちゃんかカステラを

まわっていると言っていた(佐忠真悟)

カイドさん眠っている僕らに語りかけ

反応はないのでおこつたかも(頼り一宏)

美しく緑が多い広島に

今も消えない心の傷跡(吉川理恵子)

旅館での夜の先生の見回りは

こわいようでおもしろい(水口和美)

五日間あつという間にすぎ去った

楽しい思い出心につめて(高原里佳)

旅行中家族の音が恋しく

しう中TEしする私も君も(河田和子)

原爆の恐ろしい胸に広島に

今なおただよう原爆の偉大さ(中島貴)

五日間みんなと仲良く旅館での

寝起き顔と食事の顔(桑内一恵)

また行くぞ広島ですーいた夜は

楽しい一夜だった(岡本人美)

旅館でにぎやかに遊びまわつて

先生に見つかつてすごくおどろいた(廣瀬隆盛)

この下で何人の人が死んだだろう

そう思いつつヒロシマに立つ(國藤志乃)

きれかった青く染まった海地獄

赤くきれいな血の地獄(山川雄司)

秋房洞中のけーきは美しく

こころとばかりに写した写真(西幸治)

おみやげをいっぱいつまめたかばんもち

帰途に向かう私達(稲井美音)

阿蘇山は噴火はじめて一年間

登りたかった火口まで(鎌田智美)

広島で見なくていても涙出る

戦争残りの原爆ドーム(扶川小織)

修学旅行思ってたよりしんどくて

行かなければよかったと思う日々(中川一之)

台風の前降られて別府めぐり

カッパ破れてああ冷たいな(黒川賢代)

熊本の前でそびえる名城や

我は見とれてさすくむなり(吉田尚信)

四日目の地獄めぐりで海地獄の

景色は少ー楽しかった(杉内隆之)

旅館で森先生に見つかつて

怒られた班の二人組(近藤恵司)

高崎山さるがでるでる何十匹

あちきはびくくうこいた(笠井奈緒美)

寝るときにみんななかなか寝れなくて

いろんな話 みんなで話す(斎藤良子)

広島の前爆落ちていろいろな

人が死んだ 原爆ドーム(平野徳康)

船の中ゆらゆらゆれてはきかけて

船には絶対乗りたくない(橋本雅之)

カステラのおいしさだよう大分で

みやげもの買うオレと淳(三條健次)

原爆が広島におちる時はたち

原爆ドームなまなまと(小川征志)

「自由作文より」

私はこの五日間、集団の中で生活してきて初めて感

じたことがたくさんあるように思える。(一番強く

感じたのは、人数が多いほど規則が厳しくなる

ことだ。もう一つは、あたりまえのようですごく

忘れがちなこと。それは、自分が集団の中の一人

あることだ。(一人一人が集まって集団を作っ

て、それを何人かの先生で動かしているの

先生達はすごく疲れたと思う。(水口和美)

広島に着いたとき、何と緑の多い美しい町なん

うと思いました。四十五年前、こんな美しい町に本

当に原爆が落とされ、焼け野原になってしまった

とは、なんだか今でも信じられませんが、それ位美

しい町だったからです。でもいくら外見が美しく

変わっても、人々の心についた戦争の傷は、今なお

消えずに残っているのです。(吉川理恵子)